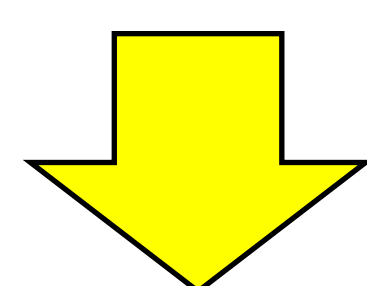


介護レセプトを利用した福祉機器・介護ロボットの利用分析

松本吉央・池ノ谷綾音(人間拡張研究センター/筑波大)、田宮菜奈子(筑波大 医学・医療系)

はじめに

- 介護ロボットが活用されるためには、まずは福祉用具が普及しないと難しいのではないかという問題意識
- 2016年度より介護保険の制度内で利用可能な介護ロボットが出てきた



福祉用具貸与の利用実態を調査

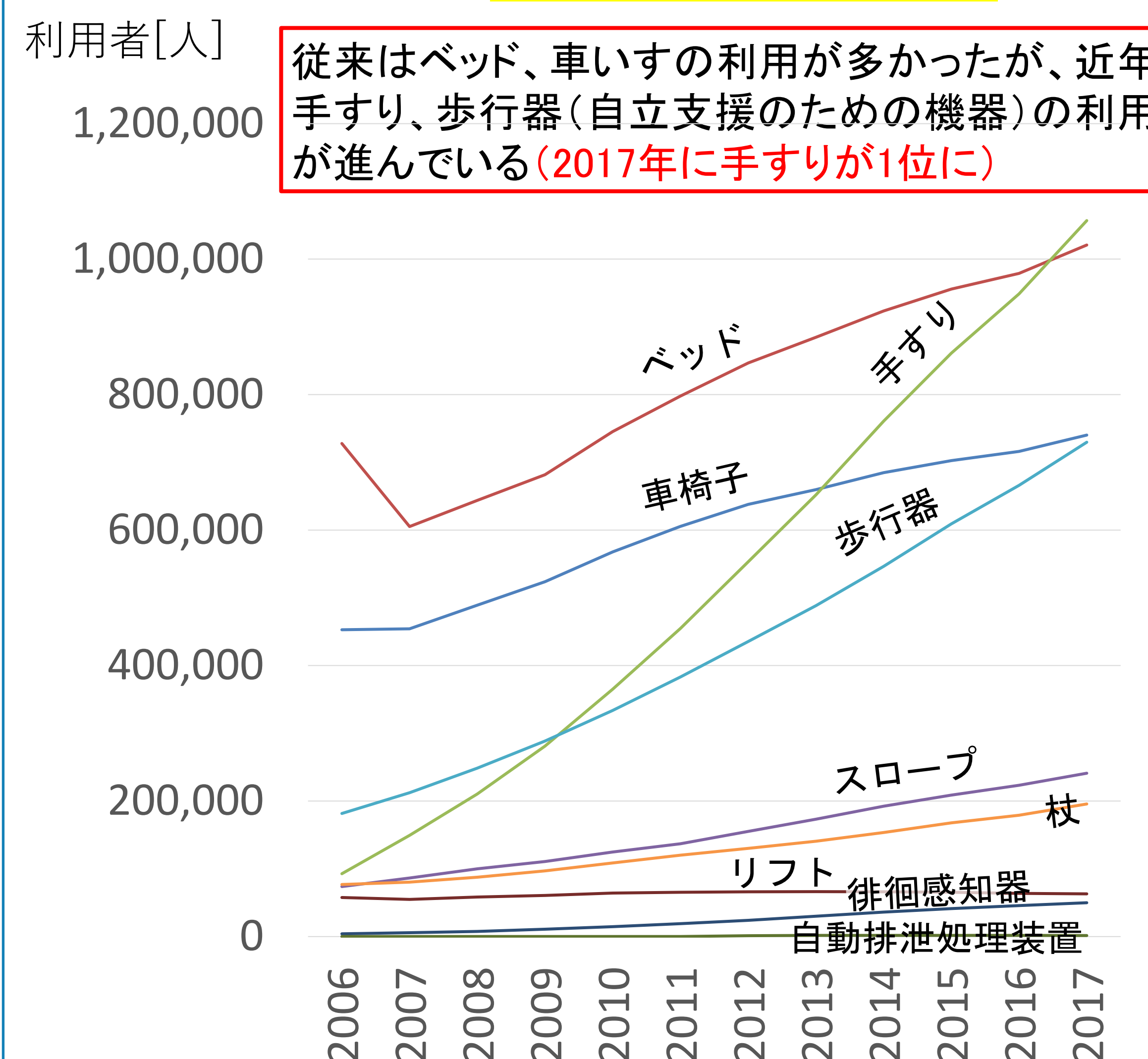
- どんな人がどんな福祉用具を使っている？
- 福祉用具を使うと、どんな効果がある？

介護レセプト分析研究の方法

- 全国や自治体(柏市、つくば市など)に介護保険レセプトの二次利用申請を行い、電子データを入手
- 匿名化された利用者の属性(年齢、性別、要介護度)とともに、月毎に利用した介護保険サービスの給付内容の情報が含まれる
- 自治体のデータについては医療データとも突合されている(全国は介護のみ)
- データの保管・分析場所: 筑波大学田宮研究室のデータ分析室を利用
- データの期間:
 - 全国: 2006～2017年度(12年間、分析終了)
 - 柏市: 2012～2017年度(6年間)
- 福祉用具13種の貸与(予防介護も含む)と関連するサービスを抽出

分析して分かったこと

福祉用具の利用者数の推移



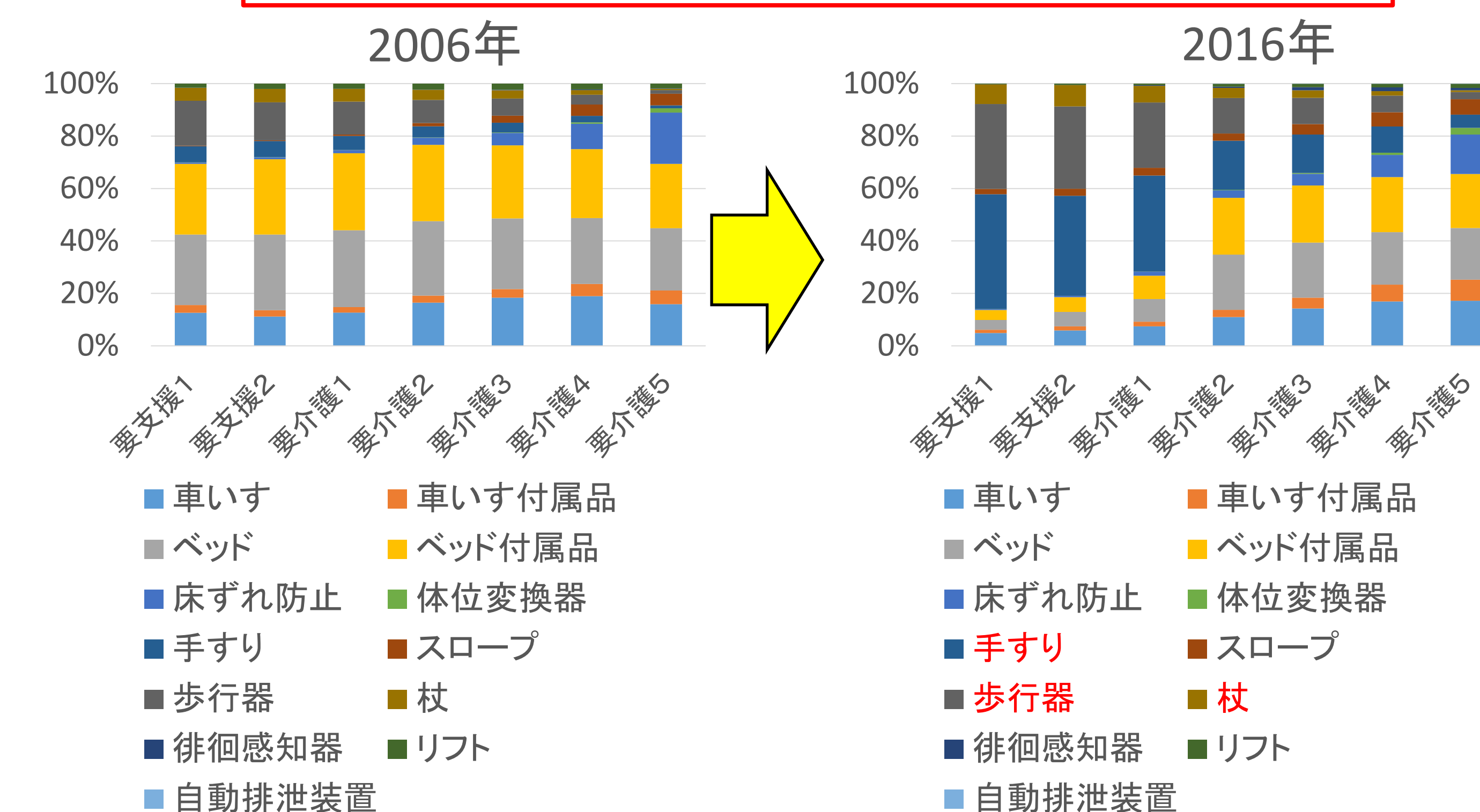
介護保険で利用の多い歩行器

順位	メーカー名	製品名	全国平均貸与価格	件数(2017/12)
1	(株)竹虎	ハッピーミニ	2,891円	>3万台
2	(株)島製作所	シンフォニーSP	2,202円	>3万台
3	(株)幸和製作所	ティコブリトルスリム	3,051円	>3万台
4	(株)幸和製作所	ティコブリトル	2,911円	>2万台
90	RT.ワークス(株)	RT. 2	7,151円	>1千台
186	フランスベッド(株)	RW-01	6,844円	>2百台
268	(株)幸和製作所	リトルキープスS	7,644円	>1百台

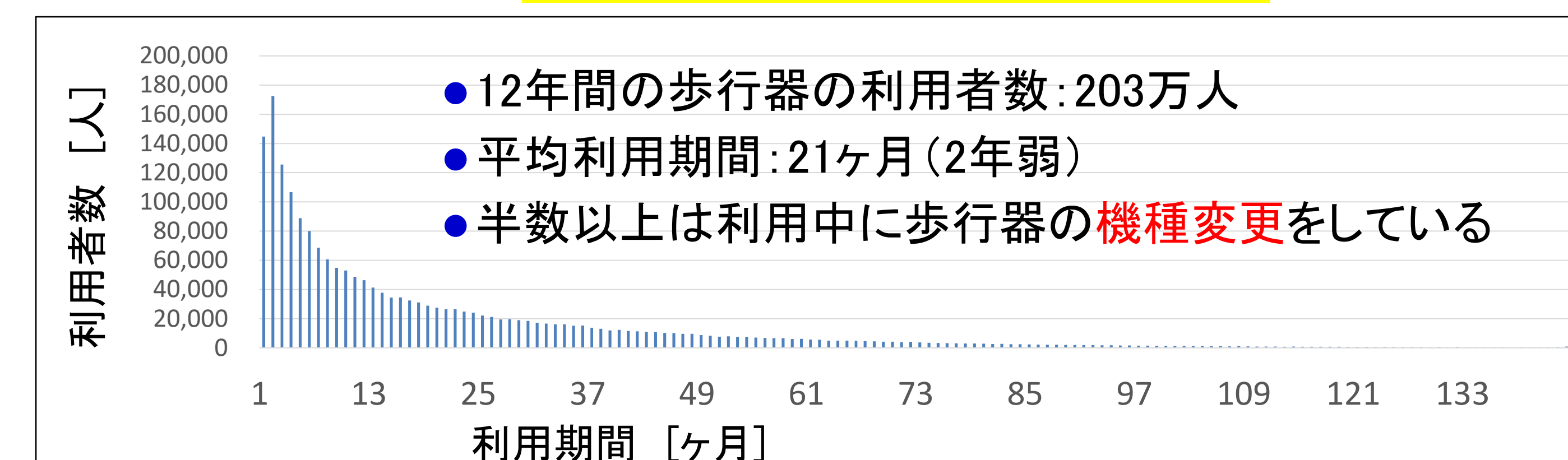
電動アシスト歩行器の普及は2017年度時点ではまだそれほど進んでいない

要介護度ごとの利用内訳の変化

特に要支援～要介護1で自立支援機器の利用が進む



介護保険での歩行器の利用期間



福祉用具利用の在宅生活継続への影響

